

# 大滝ダム貯水池斜面再評価討委員会

## 第2回委員会 議事要旨

日 時：平成17年 5月 26日(木) 10:00~12:00

場 所：新大阪シティプラザ 2階「草香(2)」

出席者：

- 委員長 千木良 雅弘(京都大学防災研究所)
- 委 員 吉松 弘行(日本地すべり学会副会長)
- ” 平野 勇(独立行政法人土木研究所地質官)
- ” 安田 成夫(国土交通省国土技術政策総合研究所ダム研究室長)
- ” 藤澤 和範(独立行政法人土木研究所上席研究員(地すべり))

議事について：

・貯水池斜面の再評価について

最新の調査手法としてのレーザー地形図および地質平面図(ルートマップ付記)、既往調査資料をもとに、調査結果の説明がなされ、寺尾から人知までと井戸(左岸)が検討された。また、上記の最新の調査地形調査手法により、白屋地区での緩み地形(緩斜面上部の段差状地形)の特徴が新たな視点で確認された。そして、白屋地区での地形的特徴と地質的特徴を参考に、今後検討必要斜面として4斜面(寺尾、迫、白屋上流、井戸(左岸))が抽出された。

抽出された調査対象斜面について、調査ボーリングの提案がなされ、承認された。

・今後の調査方針

- (1) 提案された調査方針に従って、早急に現地追加調査に着手する。
- (2) 調査ボーリング孔を利用して、計測機器(傾斜計、地下水位計)の設置によるモニタリング調査を実施する。
- (3) 貯水池の調査対象斜面の調査結果を、カルテとしてとりまとめる。
- (4) その他  
現在調査中の地区については、次回6月下旬に現地検討会において検討することを確認した。